

公表：令和 4 年 3 月 28 日

事業所名 伊豆医療福祉センター 児童発達支援事業「ポレポレ」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		活動や休憩スペースの確保は出来ている	
	②	職員の配置数は適切である	4		法令に基づいた職員配置数になっている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		施設内はバリアフリー化されている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日、清掃、消毒を実施 部屋や廊下は壁面で装飾し、季節を感じられるよう工夫している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		定期的に通所職員の会議を実施し、業務改善している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		評価表の保護者からのご意見の中で改善点があった場合は改善策を考え、取り入れていく対応をしている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページにて公表している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		「ポレポレ」では未実施ではあるが、同施設内の生活事業所で実施したため、共通部分での改善を実施した
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月 1 回の通所事業所内での勉強会実施や施設の内部研修に参加している	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		家族の思いを聞き、アセスメントに基づき支援計画を作成している。またモニタリング時には再度、家族の思いを聞き、計画に反映できるようにしている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		共通の書式を使用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		個別支援計画書には具体的な支援内容を記載している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		ケース会議を年に3回実施 モニタリング時、現状を把握した上で、支援計画の見直し、支援の継続についての会議を実施している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		月1回活動について話し合いを実施 月毎のテーマに基づき、色々な意見を取り入れ作成している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		季節や行事に合わせ、色々な活動が経験できるよう工夫している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		主活動は集団で実施している。時間帯によっては個別に関わる時間を設けている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝のミーティング実施。出席する児の情報共有や実施する活動内容の細かい打ち合わせを実施している	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日、振り返りを実施し、日誌に記録 その日の利用者の活動時の様子や健康等の情報共有をしている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		日々の支援の様子を毎回記録 課題等がある場合には、ミーティング等で課題提示や改善策等の話し合いをし、経過や内容は記録している	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		6ヵ月ごとにモニタリングを実施 児の変化と共に計画を見直している	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		会議には児童発達支援管理責任者が参加 現状把握や課題等に対する支援方法等を話し合う。その後、通所職員に伝達、資料回覧し、情報共有に努めている	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		必要時応じて関係機関と情報交換し、連携している	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		必要時応じて関係機関と情報交換し、連携している	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		施設長(医師)の健診を年に2回実施 医療的ケアの指示書を保護者と共に確認し、対応している	

②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		必要時に応じて関係機関と情報交換し、連携している また移行支援会議がある場合には児童発達支援管理責任者が出席している	
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		家族の承諾を得た上で、必要資料を作成し、情報提供をしている	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		必要時に応じて関係機関と情報交換し、連携している	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	日常の体調が不安定な児が多いため、一般園との交流は実施していない	
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4		必要に応じて対応している 同じ施設での職員が自立支援協議会に参加し、その後報告を受けている	
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		家族の送迎時にその日の様子や気になった事項を必ず伝え、保護者と情報共有し、一緒に考える機会をもっている	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4		年に数回、家族支援の一環で相談会を実施している。事前アンケートを配布し、相談内容を把握した上で実施している	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		利用契約時及び年度開始時のオリエンテーションで、説明している	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		家族には年 3 回の個別面談を実施 個別支援計画書の説明を行い、保護者に署名、捺印をもらい、同意を得ている	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		個別面談や相談会、日々の送迎時に適宜、相談し応じている	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		親の会はないが、相談会や親子参加の行事等で家族同士の交流、情報交換の機会を設けている (懇談会等は新型コロナウイルス感染対策のため個別対応)	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		随時、保護者からの相談等に対応している	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月 1 回活動内容や様子を伝えるおたよりを発行し、配布より様子が伝わるよう月末に活動の様子を写真にし、掲示している	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		常に注意し、対応している	必要に応じてその都度、取り扱い目的や内容等について、家族の同意を得ている
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		個人の連絡帳や掲示板、配布物等を活用している また個々の送迎時にも積極的に保護者に声を掛けている	

非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		年 1 回、施設一般公開を実施している (新型コロナウイルス感染対策のため中止)	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		各マニュアルを作成し、周知している 緊急時対応については、毎月事例を設定し、職員の対応訓練を実施	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月 1 回、色々な想定で防災訓練を実施	毎月、施設全体で防災委員会を開催。訓練の報告、課題に対するの検討をしている 防災訓練の実施状況を保護者に対し、月 1 回訓練の予定を掲示等でお知らせしていく
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		健康管理のため服薬、予防接種状況、てんかん発作等の把握をしている 服薬に変更があった場合にもお薬手帳を提示してもらい、把握に努めている	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		施設長(医師)の指示に沿った対応をしている	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットが発生した時は、所定の報告書を作成。通所での全体ミーティングで状況報告し、改善策等の周知している	毎月、施設全体で委員会が開催され、報告再発防止に努めている
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		年に 1 回職員は虐待研修を必ず受けている	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		身体拘束のガイドラインに沿って、対応している 安全管理の記載を個別支援計画書に掲載し、説明している。必要な場合には家族の同意を得る形で対応している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

